

あいさつ

佐賀県公立学校教頭会
会 長 小川 裕子

佐賀県教頭会会長としてご承認いただきました佐賀市立日新小学校の小川でございます。昨年に引き続き、会長の任を仰せつかいました。今年度は全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会の開催ということもあり、その責任の重さを強く感じているところでございます。皆様方のご協力をいただきながら、この役を精一杯務めていきたいと考えておりますので、今年度もよろしく願います。

さて、年度初めの教頭業務に加え、佐賀でも急増しているコロナウイルスが、今後どう影響してくるか、不安になる4、5月でした。もし、学校で感染者が出たら、いえ感染者ではなく濃厚接触者が出ても、2週間の行動規制があります。それが、職員に波及した場合はと考えると、学校が本当に機能するのかと心配は尽きません。計画通りというわけにはいかない学校運営。見通しがもてないことへの不安は、なかなか解消されないのが現状です。先日の報道であった、マスクをして持久走を行った男児の死亡事案にも、心が痛みます。こんな悲しいことが二度とあってはなりません。私たちの願いは、子どもたちの大きな成長ですが、取り巻く環境は、安心・安全という言葉とはほど遠く、心配もつきないところです。

また、今年度から中学校では新学習指導要領が全面実施となっております。スタートするに当たって、各学校では大きな力を注がなければならず、時間がかかることも多いかとお察しいたします。それに加え、働き方改革への取組やミドルリーガー・若手教員の育成等、私たちに課せられた役割は大きいものがあります。本教頭会において、副校長・教頭としての専門性を高め、学校運営に関する考え方の幅を広げることができれば、魅力ある学校づくりにつながるものと考えます。

ご存じのとおり、今年度の佐賀県教頭会には、大きな仕事があります。全国公立学校教頭会研究大会の佐賀大会の開催です。全国初のオンラインでの大会となり、2000人規模のオンライン大会は全国初だと言われております。前例がない大会ですので、不安はとてつもなく大きいです。それでも、Zoom 本社の方との会議の中で、「できます。」といった言葉を聞き、それをお守り代わりに「佐賀のメンバーであれば、何とかなる！」と言い聞かせているところです。

今年度、新しいメンバー、新しい組織でスタートしました。理事の先生を始め、各会員の皆様方に積極的に関わっていただき、ぜひ佐賀大会の成功をみなさんとともに成し遂げたいと思います。8月の大会本番まで、あと2ヶ月ちょっとです。そう多くの時間はありません。先生方の力を信じ、ご協力をお願いするばかりです。

ただ、佐賀県公立学校教頭会の目的は大会の開催ではありません。大会開催という機会をプラスに捉え、これが先生方と横の繋がりを強くすることになれば幸いです。

理事の先生方には、各地区の代表として、様々なことを各地区の先生方に広げていただき、各地区の教頭会の先生方のつながりが、より一層強くなることを願っております。お互いがもつ情報を共有しながら、各学校の教育目標達成のために、力を注いでいくことができればと思います。そして、本教頭会の存在がその一助になればと切に願っております。

どうぞよろしく願います。

令和3年5月